

ささゆり学級 国語科学習指導案

1. 単元 自分の家族を紹介しよう（「うちのこと」こくご3 同成社）
2. 目標
 - ・文字に興味を持ち、意欲的に参加しようとする。（関心・意欲・態度）
 - ・「は」「に」などの助詞を適切に使って家族のことを紹介することができる。（話す・聞く）
 - ・「は」「に」などの助詞を適切に使って文章を書くことができる。（書く）
3. 指導に当たって
 - (1) 教材観
 - ・本単元では、父母の仕事や兄弟姉妹関係が取り上げられ、家族が協力していることも取り上げている。また、「家族関係を表す言葉」「勤めを表す言葉」ととらえ児童の日常生活に生かすことができる教材だと考えた。
 - ・自分の家族の関係をとらえ、うちのことや両親の勤めを紹介することに興味を持ち、伝えようとする態度を養うことができる教材である。
 - (2) 児童観
 - ・この児童は、学校生活全般において大体見通しを持って行動できている。また、本読みが好きで、ひらがな、カタカナなどは、ほぼ読むことができ漢字への関心もみられる。しかし、やや発音については、はっきりしない場合があり、急いで早口になったりすると言葉を抜かしたり、長い言葉での発音が不明瞭になったりすることがある。また、時と場所にあった言葉の使い方が難しい場面も見られた。例えば、1年生と遊びたい時、1年生の手を引っぱって行こうとしたため1年生が泣いてしまったり、「おにごっこをしよう」といって隠れたり、遊びにつかう言葉と分かっていても、その遊び方を知らないために困っていたこともあった。
 - ・家族の紹介については、家族の一人一人の名前はとてもよく言える。しかし、「姉」という使い方をしていなかったため何度となく指導を行ってきたが、依然として、家族の名前を呼び捨てで呼んでいる段階である。
 - ・この児童は、とても明るく、友だちと同じことをしたい気持ちが強く、交流学級で行う劇の配役を決めたり小道具を作ったりする際に、自分から進んで立候補をすることができた。また、音楽が好きで、歌詞を覚えることも大変得意である。特に、苦手だった笛の練習を最後まで根気よく行うことができた。
 - (3) 指導観
 - ・自分でできることでも、少し迷ったらすぐに身近な人に頼ろうとするところがあるため、できるだけ自分自身の力で活動できるような環境づくりに配慮してきた。これは、できた喜びや自信を実感してほしいと願ったからである。また、教材文の学習を自分の家族の紹介に生かすことができるように、挿絵を拡大し、家族の顔を一枚ずつ切り離し、一人ずつ貼りながら家族関係を言葉でとらえることにした。さらに、「お父さんは・・・つとめています。」などの文を学習の初めに黒板にはって、課題を明確にするとともに、本時の学習がより興味深くなるために、この児童の家族全員の写真を準備することにした。
 - ・助詞を少しでも意識させるために、一文を主語と述語に分け、短冊型のカードに書く。このカードの間に助詞を補う学習を繰り返すことで助詞の使い方を定着させたいと考えた。また、本時の学習では、これまで以上に「は」「に」の助詞を意識した学習展開に留意していきたい。
 - ・児童の「話すこと」や「つぶやき」等を文字にして、「自己表現ができたという達成感、自信、喜びをもたせることができたか。」または、「助詞の使い方を考えて家族を紹介することができたか。」等、評価規準を位置付け児童の見取りを行いたいと考えている。

4. 学習計画 (総時数 9 時間)

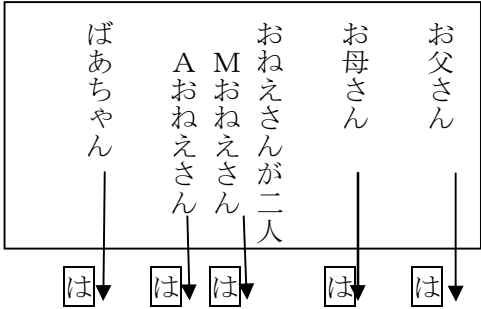
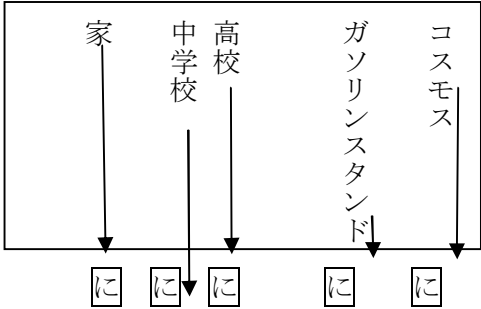
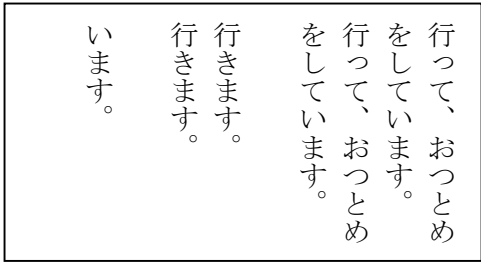
次	ねらい	子どもの思考の流れ	○ 支援 ◎ 評価
第一次 ③	<p>＜うちのこ と①を讀 んで、考 えよう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく讀むことができる。 ・家族構成がわかる。 ・両親のつとめがわかる。 ・日曜日の過ごし方がわかる。 	<p>＜田中さんのうちにだれがいますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんとお父さん。いもうと。 ・「いもうと」って。 ・一ろうさんより小さい、女の子。 ・名前はみほ子。 ・ほいくえん。うたやダンスが上手。 <p>＜お父さん・お母さんは、どんなことをしていますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お父さん、かいしゃ。 ・お母さん、スーパーマーケット。 <p>＜一ろうさんは、日曜日になると、どんなことをしていますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一ろうさんの日曜日、しんせきのうち、1年の男の子とザリガニとり。 ・ザリガニをなぜ、にがすのかな。 	<p>◎ゆっくり、大きな声で讀んだり手で押さえて讀んだりするなどの練習をさせることで、飛ばし読みや勝手な読みを減らすようにし、正しい読み取りができるようにする。(発言・発語)</p> <p>○Hさん兄弟を例にして、妹と呼ぶのはTさんであり、SさんがTさんの妹であることなどから、妹の意味を分かるようにする。弟もMさんがMAさんの弟である例からわかるようにする。</p> <p>○しんせきの意味を、具体例でわかるようにする。</p>
第二次 ⑥	<p>＜うちのこ と②を讀 んで考 えよう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しく讀むことができる。 ・家族構成がわかる。 ・両親のことがわかる。 ・わたしの手伝いがわかる。 <p>＜自分の家族のことを話そう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、仕事を紹介できる。 ・家での楽しいことを紹介できる。 <p>(本時 5/6) ＜まとめ＞</p>	<p>＜西川さんのうちにだれがいますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん。 ・お父さんが、3年前になくなった。 ・にいさん。 ・「にいさん」って。 ・みさ子さんより大きい、男の子。 ・高校に行く。 ・よる、おそくまで、勉強。 <p>＜お母さんはどんなことをしていますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お母さん、ぎんこう。 ・かえるのがおそいときがある。 <p>＜みさ子さんはどんなことをしていますか＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・てっだい。 ・夕食のあとかたづけ。 ・いつも。 <p>＜Mさん(本児)の家族を考えよう＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・表に、お父さん・お母さん・ばあちゃん・おねえさんを入れよう。 ・合う写真を見つけよう。 <p>＜みんなに、家族の紹介しよう。＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家族、家族のつとめ、学校 ・家族がしていること ・わたしのことなど <p>＜家族のことを先生に話そう＞</p>	<p>◎句読点で間をとり、ゆっくり大きな声で讀んだり、手で押さえて讀んだりするなどの練習をさせることで、飛ばし読みや勝手な読みを減らすようにし、正しい読み取りができるようにする。(発言・発語)</p> <p>○Hさん兄弟を例にして、兄さんと呼ぶのはSさんであり、TさんがSさんの兄さんであることなどから、兄さんの意味を分かるようにする。姉も身近にいる児童の例をあげてわかるようにする。</p> <p>○家の牛の世話をしている写真を準備して、家族が協力していることを思い出すようにする。</p> <p>◎建物や仕事をしている写真を見ながら、両親の仕事先を表す言葉を考え、伝えることができる。(発言・発語)</p> <p>◎写真や文を参考にしながら、家のことを、聞く人に分かりやすく話すことができる。(発言)</p> <p>◎文がなくても、家の人を分かりやすく話すことができる。(発言)</p>

5. 本時の学習

(第2次中5時)

- (1) ねらい
- (2) 評価規準
- (3) 学習活動

「は」「に」などの助詞を使って一人ずつ家族を紹介することができる。
 「は」「に」などを使って家族を一人ずつ紹介することができる。

学習活動	配時	子どもの思考の流れ・主な活動	支援○と評価◎
<p>1 本時のめあてを知る。</p> <p>2 カードゲームをする。</p> <p>カードを引いて、だれかを考える。</p> <p>3 まとめをする。 黒板をみながら、紹介の練習をする。</p> <p>紹介をする。 助詞「は」「に」などを使う。</p> <p>4 わたしのことを紹介しよう。</p> <p>5 ふりかえりをする。</p>	<p>5</p> <p>10</p> <p>15</p> <p>10</p> <p>5</p>	<p>わたしの家族をみんなに紹介します。</p> <p>・六人家族です。</p>    <p><みんなに、かぞくの紹介をしましょう></p> <p><わたしのこともおしえてね></p> <p>わたしは、家にかえると、牛舎にいきます。 わたしは、おばあちゃんの手伝いをします。 わたし<u>の家</u>には、ねこがいます。</p> <p><紹介はうまくできましたか？></p> <p style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">うまくできました。</p>	<p>○児童の興味・関心を高めるために、家族一人一人の顔写真を準備する。</p> <p>○言葉や事物の写真のカードを準備することで、だれのカードか考え、写真からお父さん、お母さんの勤め（仕事）をとらえやすくする。</p> <p>○黒板の提示を工夫し、話しやすくする。</p> <p>○紹介の練習の時間をとり、相談にのることで、自信をもって紹介しやすくする。</p> <p>◎黒板を見ながら、「は」「に」などを使って家族を一人ずつ紹介することができたか。 (発言・短冊カード)</p> <p>○楽しく紹介することができるように、毎日書いている日記を準備する。</p>

